

地本業務ニュース

JR 東海労・静岡地方本部

NO.15 2012年4月30日 発行者：JR 東海労静岡地方本部 山本繁明

平成24年度静岡支社重点実施内容について経営協議会開催

**「南海トラフ地震被害予測を反映した
地震・津波対策を！」**

**「安全・サービスが損なわれる経費節減
は認められない！」**

静岡地本は4月24日、平成24年度静岡支社重点実施内容（骨子）について、静岡支社と経営協議会を開催しました。主な内容は以下の通りです。

【平成24年度 静岡支社重点実施内容（骨子）項目】

1. 安全・安定輸送確保に向けた着実な取り組み
2. 競争力強化およびサービス向上
3. 効率的な業務遂行体制の構築に向けた徹底した取り組み
4. JR 東海社員として自覚ある行動の徹底

会社側の説明に対して、組合側からは

「昨年の東日本大震災後に乗務員の避難誘導マニュアルが整備されたが、3月31日に公表された南海トラフ巨大地震被害予測を反映して見直しを図られたい。また、それに関する訓練の定期化を図られたい」

「工務社員係員が巡回時に地震等の災害に遭った場合、連絡が取りにくくなる実態があるので対策を図られたい。また、老朽した変電所建屋等の耐震化工事を早急に進められたい」

「駅ホーム照明について、経費節減を目的とした間引き照明によって旅客や列車の安全が損なわれる事がないようにされたい」

「旅客サービスの充実のために、駅社員にポケット時刻表（中部エリア版）を配布されたい」

等を強く求めました。